

# 兵庫県スマートシティモデル事業概要

スマートシティの実現に向け、ICT・データを活用した「スマートシティモデル事業」を展開

- 以下の条件に該当する市町をモデル地区として公募
  - 地域特性に応じた課題に対する新たな取組に意欲がある
  - 企業・大学等と共創したスマートシティの取組を視野に入れている
  - 市町・関係事業者・団体等により地区コンソーシアムが組成されている※1 など
- ※1：テーマ毎に既存組織の有効活用も可。組成されていない場合は、令和4年度内に組成すること。
- 県を中心に、各地区コンソーシアム・企業・団体等により県コンソーシアムを組成
- 県コンソーシアム構成団体が連携してモデル地区の取組を推進。成果を県内市町に展開

## 役割分担

**市町【スマートシティ主体】**  
 地区コンソーシアム運営（事務局）  
 ・住民サービス提供、アセット整備  
 ・住民向け説明・情報発信

連携

## 県【コーディネート・取組支援】

- ① 県コンソーシアム運営（事務局）
  - ・利活用データ標準化
  - ・データ連携方法の調整
  - ・最新の動向調査、技術情報の展開
  - ・成果の県内市町への展開
- ② 各モデル地区コンソーシアムの運営支援
  - ・技術知見を持つ専門家の確保
  - ・アセット・知見を持つ企業・大学等とのマッチング

連携

## 企業・大学等【技術等供与】

- ・技術的アセット、ノウハウ提供
- ・技術者やセミナー講師の派遣
- ・資金、ライセンス等の提供

## 各モデル地区の具体的実証事例※2

※2：各モデル地区内の複数テーマに対し、県として支援するテーマは協議の上、選定



## スケジュール

### 課題設定と体制構築〈第1フェーズ〉

- ・モデル地区を選定
- ・モデル事業として課題を設定
- ・地区コンソーシアム、県コンソーシアムを組成

### 実証内容の策定〈第2フェーズ〉

- ・実証実験内容及び役割分担の決定
- ・各主体の持つ知見・技術・アセット等の活用、データ標準化・連携方法等の検討
- ・実証実験の仕様及び実施計画の策定

### 実証実験の実施〈第3フェーズ〉

- ・参加主体の連携による実証実験の実施
- ・実証データの分析及び実装化に向けた検証（実証実験内容にもフィードバック）

実装へ

社会実装された成果を  
 県内市町に横展開